

まず、楽譜の聞きたい部分を演奏させてみましょう。

1 五線譜の調号を調べる。

シが♭（フラット）なのでシート[ドレミから]/[音符2]の全部のシの前に♭を挿入して下さい。

セルをアクティブにして
数式バーで挿入できます。



調号を調べる

71	音符2	
72		↑↑ラ
73		↑↑ソ
74		↑↑ファ
75		↑↑ミ
76		↑↑レ
77		↑↑ド
78		↑↑シ
79		↑↑ソ
80		↑↑ファ
81		↑↑ミ
82		↑↑レ
83		↑↑ド
84		↑↑シ
85		↑↑ソ
86		↑↑ファ
87		↑↑ミ
88		↑↑レ
89		↑↑ド
90		↑↑シ
91		↑↑ソ
92		↑↑ファ
93		↑↑ミ
94		↑↑レ
95		↑↑ド
96		↑↑シ
97		↑↑ソ

これで“シ”は[半音処理]で自動的に“#ラ”に変換されます。

- 五線譜内に“♭”がついた音符があった場合は1音階さげて“#”を付けて下さい。（“♭ミ”→“#レ”、“♭*”→1音階下げて“#*”）
- 五線譜内に“#”がついた音符があった場合は同じ音階で“#”を付けて下さい。（“#◆”、“#*”）
- 五線譜内に“♯”がついた音符があった場合は同じ音階で“n”を付けて下さい。（“n◆”、“n*”）

2 英字で音階位置に入力

Q	W	#1	E	#2	R	#3	T	#4	Y	#5	U	#6	I	#7	O	#8	P
A	1	S	2	D	3	F	4	G	5	H	6	J	7	K	8	L	9
▲	▲	▲	▲	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆

71	音符2	クリア	上書保存
81			
82			
83			
84			
85			
86			
87			
88			
89			
90			
91			
92			
93			
94			
95			
96			
97			

入力

メロディ:a~pを必ず一つ使用
ハーモニー::zを複数使用可
他にも別の入力の方法がありますが
今回は、こちらをお奨めします。
詳細は作成手順でご確認下さい。

3 英字を音符記号に変換

71	音符2	クリア	上書保存
81			
82			
83			
84			
85			
86			
87			
88			
89			
90			
91			
92			
93			
94			
95			
96			
97			

数字等を音符へ変換

半音処理

で調号が正しいか
確認できます。

4 音符作成例



この位置に◆を入力した条件は
音符の音階・音価から決定しました。

81					
82					
83					
84					
85					
86					
87					
88					
89					
90					
91					
92					
93					
94					
95					
96					
97					
98					
99					
100					
101					
113	範囲外/強弱		35		
114	音価		2		



音価(長さ)の短い音符に合わせる。

強弱:30~60
音価:1~

5 シート「MIDIデータ作成」に鍵盤指位置＋MIDIノートナンバーを作成

上書き保存

後、

一括処理

で自動的に作成されます。

6 シート「MIDIデータ作成」をCSV形式で保存する。

[MiMi.CSV] で保存

7 処理フォーム

71行目をダブルクリックすると表示されます。



8 試聴する。



- (1) [MiMi支援] ツールを起動し、MiMi、CSVを呼出します。(ファイル／曲呼出)
(MiMi、CSVはドキュメントあるいは起動したフォルダ内にあります)
- (2) テンポを速くする場合は、演奏前後にPgUp キー を数回押して下さい。
再度試聴はマウス左クリックして下さい。
- (3) 同じ曲を繰り返し呼出して試聴する場合は[再呼出]または画面を左クリックして下さい。
楽譜画像表示中は [再呼出] または [ヘルプHome] をクリックして下さい。
(音程等を微修正しながら試聴する場合に適します)
- (4) 別曲を視聴する場合は[リセット後呼出](ファイル／リセット後呼出)で呼出して下さい。
(前曲のテンポと楽器の設定を引き継がない場合)
[完成曲] 内の曲はあらかじめ テンポ・楽器 を設定しております。